



さんびょう  
三錨

ほんき げんき こんき  
本気に 元気に 根気よく

よっかいちしりつとみすはらしょうがっこうがっこう  
四日市市立富洲原小学校学校だより  
れいわ ねん がつ にち  
令和6年9月12日 NO.10

【学校教育目標】 夢と希望を持ち、未来に向かって心豊かに育ち合う子どもの育成

## 全国学力学習状況調査の結果より

4月18日、6年生児童を対象に全国学力学習状況調査が実施されました。今年度は、国語・算数2教科の学力調査と児童質問紙調査が実施されました。

結果は、国語・算数どちらの教科においても、全国や県の平均正答率を上回る素晴らしいものでした。学校・家庭・地域が一体となって取り組んできたことが、子ども達の学力向上につながったと考えています。

しかし、全国学力学習状況調査の目的は、他と比べ優劣をつけることではありません。結果分析から本校の「強み」「弱み」を明らかにし、今後の授業や家庭での学習、生活の改善に活かしていくことが目的です。是非、この後の分析結果と今後の学校の取組に目を通していただき、子ども達の学力定着と向上及び生活の向上のために、ご協力をいただきたいと思います。

### 国語科

#### 【結果】

- 全体の正答率は、全国平均を上回っています。
- 記述式問題の無解答率が、全国平均より低くなっています。
- ▲選択式や短答式に比べて、記述式の正答率が低くなっています。

#### 【強み】

- 書き表し方を説明した図を理解する力がついています。
- 文章を書く前に、構成や伝えたいことをメモに書き表す力がついてきます。

#### 【弱み】

- ▲条件に合った文章を書くことが苦手です。
- ▲事実と考えを分けて書くことが苦手です。
- ▲物語文において、登場人物の相互関係から人物像や心情を読み取るのが苦手です。
- ▲語彙が少なく児童が多く見られます。
- ▲「なぜなら～からです」という理由を伝える文章を書くことが苦手です。
- ▲主語と述語が一致した文を書くことが苦手です。

## 【今後の取組】

- 感想文等を書かせたときに、添削や書き直しをさせることで文章の書き方を定着させます。
- 「事実」と「考え」を分けて書く活動に取り組んでいきます。
- 語彙力をつけるために、学校や家庭での読書量を増やす工夫をします。

今回の結果から「書くこと」に課題が見えてきました。

今後も、学校では、「書く力」を育てるため、系統的に授業で取組を進めていきます。ご家庭でも、「書くこと」を意識して、お子さんを見守っていただくとありがたく思います。

## さんすうか 算数科

### 【結果】

- 全体の正答率は、全国平均を上回っています。
- ▲無解答率が、全国平均より高くなっています。
- 選択式・短答式・記述式、全てにおいて正答率が県平均を上回っています。

### 【強み】

- 文章から数の関係を読み取り、□を使った式を立てることができます。
- 視空間認知能力が高く、見取り図を正しく描く方法を理解しています。

### 【弱み】

- ▲球の直径と立方体を構成する要素との関係を考察することができていません。深い理解を伴う知識が十分ではありません。
- ▲速さを含む「単位量当たりの大きさ」の理解が十分ではありません。
- ▲問題文を読み、表やグラフを手がかりに考える等、複雑化した問題の意図を、正確に読み取ることが苦手です。
- ▲考え方の説明等、記述式問題の正答率が二極化しており、十分に力がついていない児童の多いことが分かります。

## 【今後の取組】

- キーワードや数字、説明の順序を提示して、考え方の説明を文で書く活動に力を入れていきます。
- 学年や単元に応じて、少人数での学習を取り入れていきます。
- 問題文の意図を読み取る力をつけるために、線分図や表やグラフ等の思考ツールを使い、自分の考えを図式化するような活動を取り入れていきます。

## 児童質問紙調査の結果より

- 学校や教職員を信頼している児童がたくさんいます。
- 平日の家庭学習が定着してきたことがわかります。
- 課題解決型の授業により、児童自らが考える力がついてきています。
- ▲家庭でゲームやスマホを使用する時間が多い傾向にあります。
- ▲国語嫌いの児童が多い傾向にあります。

## 【今後の取組】

- 自ら学ぶ力につながるよう、家庭学習の課題を工夫していきます。
- 読書週間の取り組みを継続し、保護者とともに読書活動をすすめていきます。
- 学習したことをアウトプットする場や、探究する活動を取り入れていきます。
- 国語の授業づくりを見直し、子ども達が「やってみたい」「わかりたい」と感じる授業を目指します。

ご家庭でのゲームやスマホ利用のルールを徹底していただき、子ども達が心身ともに健康に過ごせるような生活習慣づくりにご協力ください。

また、子ども達の語彙力、読解力向上のため、家庭で本を読む時間の確保や、親子読書等に取り組んでいただき、ご協力いただくと大変ありがたく思います。

これからも家庭と学校が一体となって子ども達の教育を進めていきたいと考えています。よろしくお願ひします。